



岡野クリニック にゅーす

医療法人社団 貴昌会

岡野クリニック

〒343-0808

越谷市赤山本町7-2

☎048-969-0223 FAX048-969-0224

特集コーナー 難聴と認知症の関係

現在、多くの研究が「難聴が認知症の大きなリスクの要因」と結論づけています。これは難聴が認知症の直接的な原因であることを意味しているわけではありません。加齢による聞こえにくさの「加齢性難聴」は「音が大きくない」と気付かない」という聴力の低下だけでなく、「言葉を正確に聞き分けられない」という問題も含まれています。このことから人とのコミュニケーションの機会を減らしてしまいがちです。その結果、社会的孤立やうつが生じやすくなり、認知症の発症リスクを高める可能性があります。聞こえの変化を感じたら、家族や友人に相談し、まずは耳鼻咽喉科を受診することをお勧めします。治る難聴の場合は治療を受け、必要に応じて補聴器を活用するようにしましょう。社会活動や趣味の活動、人との交流を続ける事で、認知症予防につながる事が期待できます。

訪問看護日誌



「クオリティー・オブ・ライフ(QOL)」という言葉をご存じでしょうか。「生活の質」、「人生の質」と訳され、個人の生きがいや精神的な豊かさを重視して「自分らしい豊かな生活」を送るための重要な視点とされています。そして今、医療や看護においてのQOLは、ますます重要になっており、慢性疾患

や終末期ケアの場面において、人生の質やその人らしい生き方に寄り添った看護が求められています。例えば、在宅酸素療法や人工呼吸器、電動車いす、歩行器、電動ベッドなど、補助器機を活用すれば、ご本人の希望に添った生活を送ることなどが可能な場合もあります。患者さんが「できること」だけに注目せずに、「ご本人が望む生活をどう実現するか」という視点で支援し、看護していくことが大切です。日々の訪問の際の観察により、症状を早期に把握し、必要に応じたケアや予防策を提案していききたいと思っています。

ひげたくらぶ



あけましておめでとうございます
 昨年は、秋になっても暑い日が続き、束の間、過ごしやすくなった途端に、冬の寒さです。この温度差に身体が付いていくのは大変です。体調不良を訴える方や、インフルエンザの患者さんが激増するのも仕方ありませんね。お正月が過ぎると益々寒さは厳しくなります。予防接種は済ませていますか？人混みへの外出の際には、マスクの着用や手洗い、うがい等の自己防衛を心がけましょう。

リハビリケア岡野です



85歳のAさんは、認知症の症状があった上に脳梗塞を発症し、訪問リハビリを開始して3年半になります。これまで肺炎や脱水などの内科疾患を繰り返し、命の危機も何度かあ

りましたが、何とか命を繋いできました。その陰には、奥様の献身的な介護がありました。Aさんは現役時代、社長の右腕として活躍され、家には同僚や部下が飲食に訪れるほど人望があったそうです。引退してからは、奥様のお母様をご自宅に引き取り、食事やオムツの介助まで共に丁寧な介護をなさったそうです。このことに奥様はとても感謝されています。訪問リハビリに伺った際に、奥様はご主人との様々なエピソードを語ってくださいました。その思い出の数々からは、共に歩んできたお二人の深い絆を感じ、今の奥様の支えになっているように思えるのです。温かいお二人との時間は、ご自宅を訪問するリハビリだからこそ感じる事ができる、かけがえのないものです。

すたっふ便



過日、仙台を旅行した際に、旬の鍋料理に出会いました。それは「せり鍋」。メインのせりに鶏肉、少々のネギとシンプルなお鍋です。せりは、普段は捨ててしまう根の部分まで美味しく頂きます。このお鍋の注意点は一つ、せりを煮過ぎないことです。料理人との談で、根は3分、葉は1分がベストとの事。エグミも無く美味しく頂きました。ゞは素麺に似た白石うーめん、これも絶妙でした。

一月の予定一睦月

休診日 一日・二日・三日・四日・十一日
 十二日・十八日・二十五日



医療事務パートスタッフを募集しています。
 お問い合わせください。